

御嵩町「少年の主張大会」に出場しました！

【令和7年6月14日】



6月14日(土)、今年度の御嵩町「少年の主張大会」が中公民館で開催され、本校3年のジョアキーノ・レイカさんが「小さな行動が未来を救う」という題目で発表を行いました。本大会は御嵩町内の小・中学校に在籍する児童生徒及び町内在住の特別支援学校の中学部の生徒を対象とするものですが、高校生も特別参加をさせてい

ただいています。発表では、映画「シン・ゴジラ」の描写に注目し、「小さなことの積み重ねが社会を動かすきっかけになる。小さな行動が人の心を動かし、周りや社会を変えることができる。」との思いを伝えました。最後に、「皆さんが『自分にもできることがあるかもしれない』とってくれたら、それが次の行動や未来をつくるきっかけになる。」というメッセージで締めくくりました。審査員の方からは「小さなことの積み重ねの大切さを再確認できた。人々の心に届く言葉の力の尊さを感じた。」とのご高評をいただきました。発表は会場の多くの人々の心に響き、「特別賞」を受賞しました。レイカさんの発表内容は、御嵩町教育センターだより「朝霧」に

掲載されるとともに、YouTubeでも配信される予定です。

